

南北に長くのびた常陸太田市には豊かな自然と文化があふれています。このマップでは県内有数の観光地である**竜神峡**と、日本列島の形成に重要な役割を果たした**棚倉断層**について紹介します。



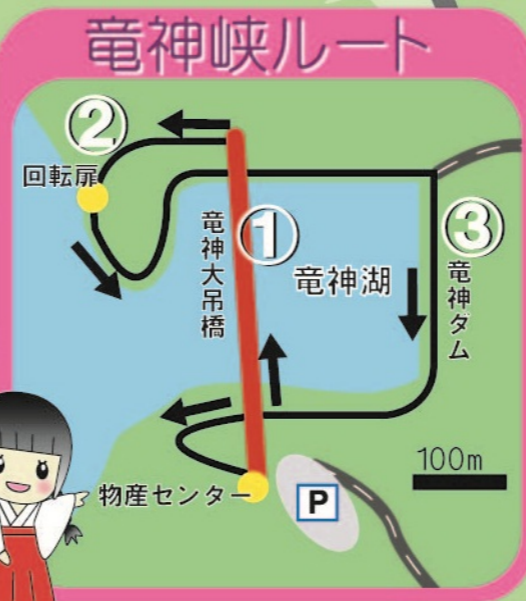
棚倉断層



ここでは道に沿って急な崖がまっすぐに続いています。この崖は「棚倉断層」がずれた時にできた急斜面で、断層崖と言います。棚倉断層は福島県棚倉町にかけて約60km続く、日本を代表する大断層です。この棚倉断層がずれた際に、この西側にある岩石がとても硬く侵食に強かったために崖として残っているのです。

竜神峡の成り立ち

- ①昔この辺り一帯は海の底にあり、海底では火山が活動していました。
- ②この火山が噴火すると、溶岩が海水によって急激に冷やされ、バリバリに砕けながら固まっていきました。
- ③やがて海水面の低下によって、海の底から陸地になると、雨や風による風化・侵食作用によって表面が削られていきました。さらに、竜神川の流れる部分は深く削られていきました。
- ④この作用が長い年月にわたって続くことで、V字型の深い峡谷が作られ、今の竜神峡ができました。



竜神峡

竜神峡は、竜神側が長い年月をかけて十数kmにわたる原生林に刻んだ、V字型の美しい渓谷です。流れの途中にはところどころに淵や瀬があり、幻想的な景色を作り出しています。ここでは吊橋から歩いて回れるコースを紹介します。

① 竜神大吊橋



歩行者専用として本州一の長さ(375m)を誇る竜神大吊橋。橋の上からは竜神峡がつくる四季折々の美しい景色が見渡せます。橋の途中には床がガラス張りになっているスペースがあり、100m下のダム湖を見る事ができます。

※通行料金300円が必要です。

② 渓谷をつくる岩石



吊橋を渡り、左側にある階段を降りていくと、道の両脇にゴツゴツした黒っぽい岩石がよく見られます。この石は竜神峡を作っている硬くて侵食に強い岩石です。この岩石はどうやってできたのでしょうか。

詳しくは



③ 竜神ダム



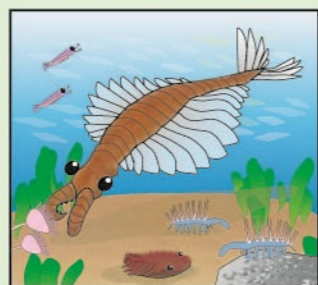
回転扉を左にしばらく進むと、竜神川をせき止めて建設された竜神ダムがあります。このダムは昭和30~40年代に連続して洪水が発生したことを受け手建設されました。竜神大吊橋からは普段なかなか見られない上空からのダムの姿を見ることができます。

常陸太田に日本最古の地層！

2010年、常陸太田市長谷町で5億1000万年前のカンブリア紀の地層が見つかりました。この地層は、2008年に日立市小木津山自然公園において見つかった地層よりも500万年も古く、現在日本で見つかった中で最も古いと考えられています。

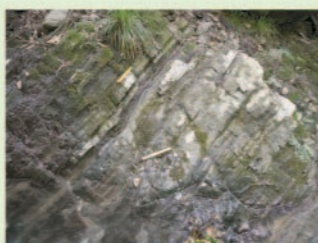
「カンブリア紀」ってどんな時代？

今回発見された常陸太田の地層と、日立の地層はカンブリア紀という時代の地層です。カンブリア紀とは5億4000万年前～4億9000万年前の期間で、この時期には生物が爆発的に増加しました。今とは全く異なる外見の生物がたくさん生息していました。



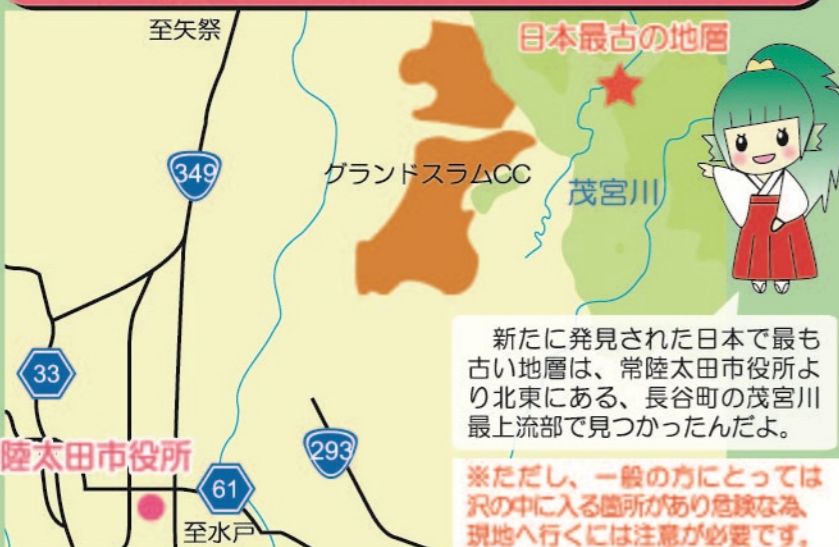
カンブリア紀の海の中 (イメージ図)

常陸太田市、日立市には他にも広くカンブリア紀の地層が分布しています。もしかしたら茨城県北に広がる日本最古の地層は、日本列島の成り立ちを解明する鍵になるかも知れません。



新たに年代測定をした地層 (常陸太田市 西堂平)

日本最古の岩石はどこにある？



新たに発見された日本で最も古い地層は、常陸太田市役所より北東にある、長谷町の茂宮川最上流部で見つかったんだよ。

※ただし、一般の方にとっては沢の中に入る箇所があり危険な為、現地へ行くには注意が必要です。

棚倉断層と日本列島の形成！

棚倉断層が活動した1500万年前は、日本列島が大陸から離れ、日本海が出現し始めた時期でした。その動きはまるでドアを押し開けるように、北と南に分かれて動き、それが今の日本列島のくびれの要因となりました。その境となったのが棚倉断層だと考えられています。

①3200万年～2000万年前

ユーラシア大陸の縁に割れ目が入り、その割れ目が拡大して日本海ができ始めました。



②2000万年～1500万年前

その後、日本海が一層広がりました。その時にできた割れ目の一つが棚倉断層です。



③1500万年前以降

海面が現在よりも高くなると、茨城県は阿武隈山地・八溝山地の一部を除いたほぼ全域が海面下となりました。



④現在

海面が下がるにつれて、日本列島・日本海は現在の姿になり、棚倉断層の活動も収束に向かいました。



ジオロボくんの豆知識 + + + +

竜神峡を泳ぐ1000匹の鯉のぼり？ 絶品！常陸秋そばの美味しさの秘密に迫る！

竜神峡までのアクセス

- 車:** 常磐自動車道・那珂ICから国道349号を経由し竜神大吊橋方面へまたは、常磐自動車道・日立南太田ICから国道349号バイパスを経由し竜神大吊橋方面へ(約40分)
- 電車:** JR常磐線・水戸駅乗り換え、JR水郡線・常陸太田駅下車 茨城交通バス、下高倉行または下高倉・大子行に乗車、竜神大吊橋または竜神大吊橋入口下車(約40分)

後援・協力(順不同・敬称略)

茨城大学理学部名誉教授 田切美智雄
常陸太田市商工会
常陸太田市教育委員会

各ポイントの詳細な説明を携帯サイトで紹介しています。QRコードの読み取り機能のある携帯電話で読み取って接続してみてください！



⑬常陸太田



茨城県北ジオパーク推進協議会

お問い合わせ geopark@mx.ibaraki.ac.jp
ホームページ <http://www.ibaraki-geopark.com>



製作協力 茨城大学 地質情報活用プロジェクト
茨城大学の学生によるプロジェクトです